

# Red Hat セキュリティソリューション サーバー運用・管理の効率化で強固なセキュリティを実現

## サーバーのセキュリティ対策を忘れていませんか？

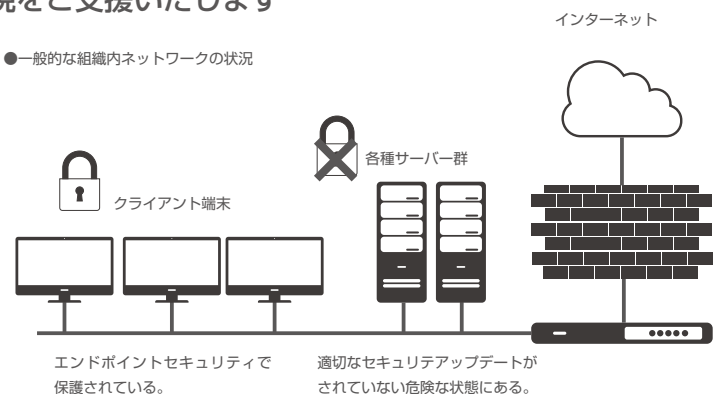
標的型攻撃、ランサムウェアなどのサイバー攻撃は日々進化し、日本年金機構における個人情報の流出をはじめとして、官公庁や自治体へのサイバー攻撃は増加の一途をたどっています。さらに、2017年7月からマイナンバーの本格運用による情報連携の開始が予定され、セキュリティ対策を今すぐにでも実施する必要があります。一方で、日進月歩で進化するITシステムの高度化により、管理と運用は高度な専門性を問われる時代へと突入しており、官公庁や自治体ではより効率的にITシステム運用の課題を解決することが求められています。

## レッドハットのセキュリティソリューションは、 Linux サーバーの運用効率化と強固なセキュリティの実現をご支援いたします

多くのセキュリティソリューションでは、クライアント端末に対するセキュリティ対策が中核となっています。しかし、クライアント環境だけに対策を実施しても、システムの中核をなす庁内のサーバーやインターネット外部へのアクセスを実施する Proxy サーバーなどに対してセキュリティ対策が行われていないと、課題は解決しません。

しかし、官公庁や自治体のサーバーは定期的なセキュリティアップデートが行われていないなど、脆弱性が放置されている場合が多くあるという現状を考慮すると、サーバーに対して常に最新のセキュアな環境を維持し、日々の運用や管理に負担が少ないセキュリティソリューションが必要となります。

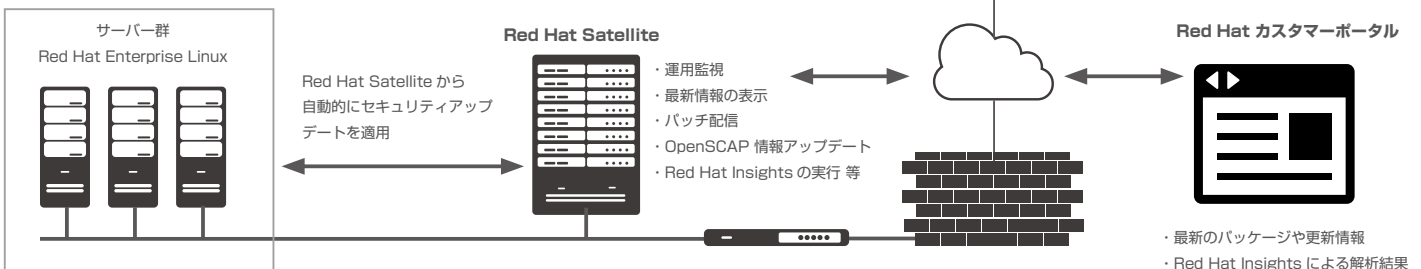
●一般的な組織内ネットワークの状況



## レッドハットが提案するセキュリティソリューションが解決します

レッドハットが提案するセキュリティソリューションは、まず現状の把握を行うことで問題点を把握し、さらに恒常的かつ効率的な運用プロセスを構築する支援をすることで強固なセキュリティを実現します。

まず組織内のサーバーに対して Red Hat Enterprise Linux  
脆弱性クイックチェックサービスで現状確認を実施



## Red Hat Enterprise Linux 脆弱性クイックチェックサービスでまずは現状把握

現状把握には、レッドハットのコンサルタントがシステムの脆弱性の解析を行う「Red Hat Enterprise Linux 脆弱性クイックチェックサービス」をご用意。必要な情報を収集して送付するだけで、正確かつ的確なレポートを提供します。お客様は各サーバーの状態をより深く理解し、その後の改善などのステップに円滑に移行できます。

## Red Hat Enterprise Linux 脆弱性クイックチェックサービスのメリット

1. 既知の問題が顕在化してビジネスへ影響が及ぶことを予防
2. 複数サーバー間でパッケージ構成が同一であることを確認
3. 既存サーバーの OS 更新作業に抜け・漏れがないことを確認

## 運用の効率化を Red Hat Satellite と Red Hat Insights で実現

Red Hat Satellite は、1 つのコンソールで Red Hat Enterprise Linux のセキュリティの保護や運用管理などのライフサイクル全体を簡単に管理できるプラットフォームです。さらにライフサイクル全体を管理できるため、既知の脆弱性を含むシステムの把握と更新を行うことでセキュリティの保護だけでなく、運用の効率化を図ることで総所有コストを削減することが可能です。

### Red Hat Satellite ソリューション導入のメリット

1. 管理コンソールで Red Hat Enterprise Linux を簡単管理：何十、何百という物理サーバーや仮想サーバー上でも 1 台のサーバーを管理するように簡単運用が可能です。
2. 常に最新のセキュアな環境を維持：Red Hat カスタマーポータルからインターネット経由でレッドハットから最新のパッケージや更新情報を取得。必要なセキュリティアップデートを自動で行うことで、既知の脆弱性を放置しません。緊急パッチも迅速な配信が可能です。
3. 米国政府標準セキュリティ規格に対応：最新バージョン Red Hat Enterprise Linux 7 では、情報セキュリティ対策の自動化と標準化のための規格である SCAP に対応した OpenSCAP を標準搭載。OpenSCAP を利用することで、組織にあわせたセキュリティポリシーを設定し、脆弱性対策情報の確認作業などを自動化可能です。さらに Red Hat Satellite を利用すれば、複数の Red Hat Enterprise Linux を管理画面から一元的に管理することができます。

Red Hat Insights は一部の深刻な脆弱性（現在約 40 種類に対応）や設定の問題などを自動的に検出し、実際に障害が発生する前に対策することを目的としたサービスです。Red Hat Insights は、対象となるサーバーにクライアントソフトをインストールしておくことで、構成情報などのシステムの情報をインターネット経由でレッドハットに定期的送信。ユーザーは、問題の内容・重大度・対策・関連するナレッジベースなどを Red Hat カスタマーポータル上で確認できます。

### Red Hat Insights ソリューション導入のメリット

1. 優先度に従った問題解決手順を提案
2. インターネットに接続された Red Hat Satellite との連携で、インターネット接続が許されていない環境の Red Hat Enterprise Linux も診断可能
3. ユーザー企業が Red Hat Enterprise Linux のサブスクリプションを持っているれば、物理環境／仮想環境を問わず、10 システムまでは追加費用なしで利用可能

レッドハットは、政府機関や金融サービスを含む、さまざまな業界のお客様とのコラボレーションを通じてソフトウェアを開発しています。お客様からの貴重なフィードバックを活用して、厳格でセキュアなプロトコルをソフトウェアに組み込んでいます。そして、専任のエキスパートチームが 24 時間体制でレッドハットのテクノロジーをサポートすることで、安心してご導入いただけます。

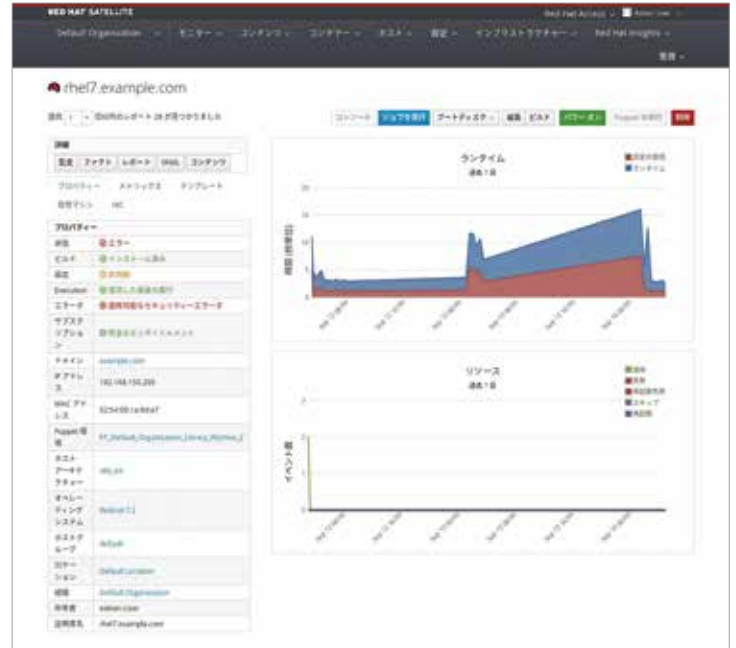
#### RED HAT について

オープンソースソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備えるクラウド、Linux、ミドルウェア、ストレージおよび仮想化テクノロジーを提供、さらにサポート、トレーニング、コンサルティングサービスも提供しています。Red Hat は、企業、パートナーおよびオープンソースコミュニティのグローバルネットワークの中核として、成長のためにリソースを解放し、IT の将来に向けた革新的なテクノロジーの創出を支援しています。

### レッドハット株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4 丁目 1 番 18 号 恵比寿ネオナート TEL: 03-5798-8500 (代表) <http://www.jp.redhat.com>

Copyright © 2016 Red Hat, Inc. Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, Shadowman ロゴ、および JBoss は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Linux は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。



管理対象になっている Red Hat Enterprise Linux に対して OpenSCAP を実行した画面



Red Hat Insights レポート画面

## Red Hat Enterprise Linux 脆弱性クイックチェックサービス 価格

対象台数	価格 (税別)
10 台まで	98,000 円
50 台まで	450,000 円

サービス対象：1 ~ 50 台の Red Hat Enterprise Linux サーバー

※ 51 台以上について適用したい場合にはご相談ください。

確認範囲：Red Hat Enterprise Linux のパッケージ単位